

# 民生委員児童委員一斉改選の状況について

令和8年3月16日  
健康福祉部福祉政策課

- 1 民生委員児童委員とは
- 2 民生委員児童委員を取り巻く環境
- 3 過去の一斉改選の結果
- 4 担い手確保に向けた取組
- 5 令和7年一斉改選の結果
- 6 民生委員児童委員の状況分析
- 7 アンケートの実施
- 8 見えてきた今後の取組の方向性
- 9 本市における今後の取組

# 1 民生委員児童委員とは

- 民生委員児童委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれが担当する地区において支援を必要とする地域住民を見守り、社会福祉の増進に努める人たちで「児童委員」を兼ねている
- 非常勤特別職の地方公務員で、地域の生活上のさまざまな心配事の相談に応じ、住民と行政や社会福祉協議会などの支援機関を **つなぐ役割** を担っている
- 民生委員法に基づいて、地域の生活上の相談や地域での見守り活動、行政からの依頼事項に協力などを行っている
- 各学区（地区）内の区域を担当する地区担当の委員と、児童に関することを主に扱う「**主任児童委員**」がいる
- 任期は1期3年



滋賀県民生委員・児童委員キャラクター  
「びわっ湖 ミンジー」

## 2 民生委員児童委員を取り巻く環境

### 民生委員児童委員を取り巻く環境は変化している

1. 人口減少や少子高齢化
2. 地域のつながりの希薄化
3. 多様な課題への対応
4. 定年年齢の引上げや再雇用等により65歳以上の労働者が増加



青山地区の子育てサロンの様子

### 3 過去の一斉改選の結果

#### 全国の状況

	令和元年	令和4年
定数	239,682人	240,547人
委嘱数	228,206人	225,356人
充足率	95.2%	93.7%

#### 中核市の状況

	令和元年	令和4年
定数	39,462人	41,735人
委嘱数	37,719人	39,383人
充足率	95.6%	94.4%

#### 大津市の状況

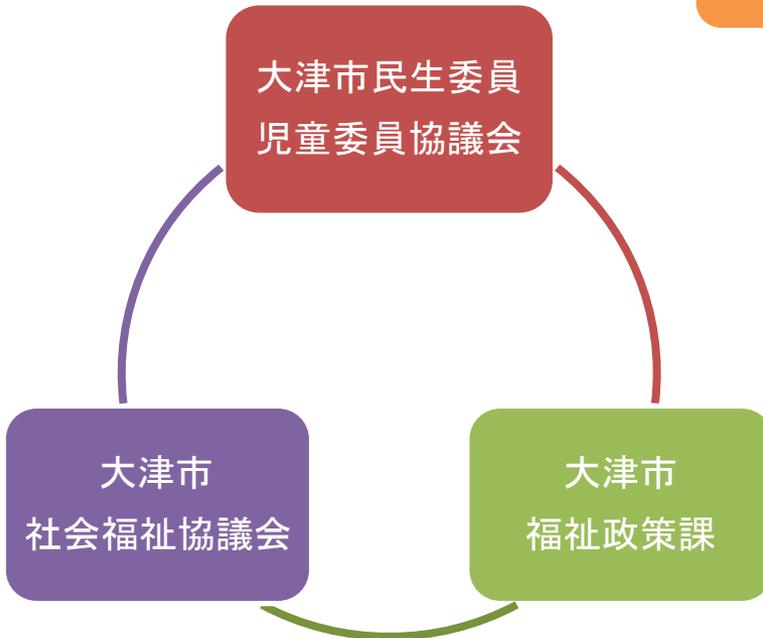
	令和元年	令和4年
定数	657人	664人
委嘱数	654人	651人
充足率	99.5%	98.0%

## 4 担い手確保に向けた取組

### ●担い手不足解消チームを設置（令和5年4月）

#### 【発足の目的】

令和7年一斉改選に向けた担い手確保を目指す



#### 【メンバー】 15名

大津市民生委員児童委員協議会連合会	10名
大津市社会福祉協議会	2名
大津市福祉政策課	3名



## 4 担い手確保に向けた取組

### 担い手不足解消チームの取組

- 大津市の現状を把握するために全ての民生委員にアンケートを実施
- アンケート結果をもとに5つの項目について協議・検討

	具体的な取組
1	民生委員児童委員の仕事の整理と見直し（業務の明確化と負担の削減）
2	民生委員児童委員のお仕事マニュアルの作成
3	民生委員児童委員の人材育成方法の共有
4	民生委員児童委員活動の周知方法や新たな取組
5	本市での選任方法の検討

## 5 令和7年一斉改選の結果

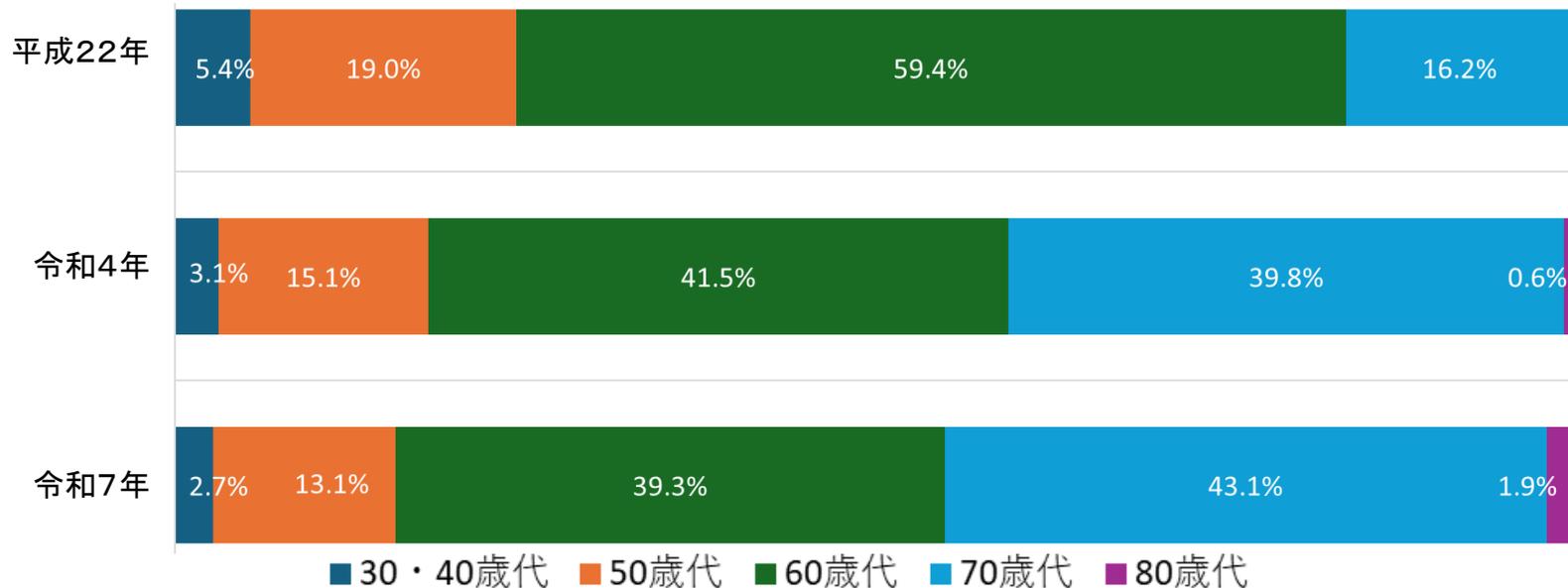
- 平成28年まで大津市の民生委員児童委員の充足率は100%
- 令和元年から欠員が生じ、令和4年に欠員数が拡大
- 令和7年12月1日の一斉改選では、定数664人に対し634人を委嘱したが、充足率は95.5%

	定数	委員数	充足率
全国	240,971人	220,880人	91.7%
中核市	41,845人	38,801人	92.7%
<b>大津市</b>	<b>664人</b>	<b>634人</b>	<b>95.5%</b>

## 6 民生委員児童委員の状況分析

### 年齢別

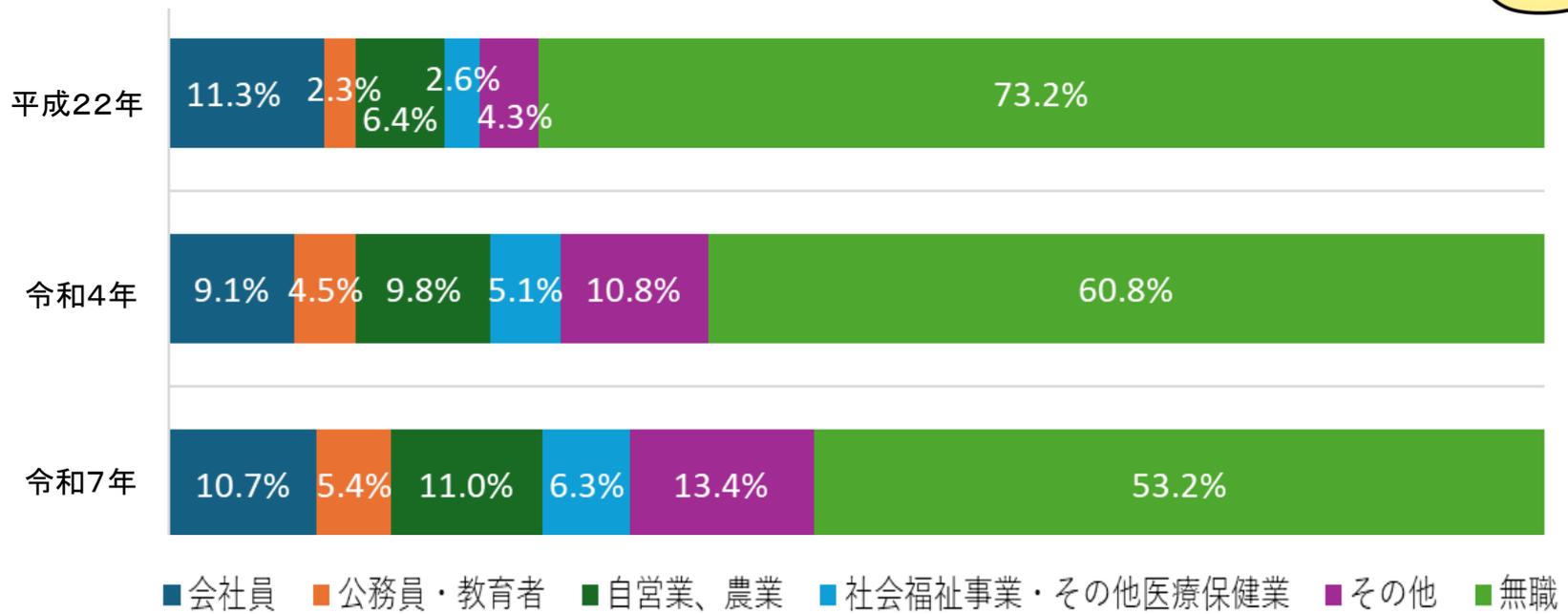
- 以前は、60歳代が最多
- 定年年齢の引上げや再雇用等により70歳以上が増加
- 民生委員児童委員の平均年齢が上昇傾向
- 60歳以下の若い世代は減少



## 6 民生委員児童委員の状況分析

### 職業別

- 無職の割合が減少
- 労働者の中でもその他(パートやアルバイトなど)が増加
- 社会福祉事業他に就業されている方が増加



## 7 アンケートの実施

学区内申委員会委員長(学区社会福祉協議会長)及び地区民生委員児童委員会長に民生委員児童委員候補者選出等のアンケートを実施

### 良かった点

- 早期に担い手探しに取り組んだことで、人選に余裕があった
- 地域で活躍する福祉関係者やボランティア経験者に依頼した
- 担い手不足解消チームの取組みにより、退任希望から継続に転じた人もいた
- 業務の見直しにより、民生委員活動の負担が軽減できた
- 早期の取組により、退任予定者を把握することができた

### 問題点

- 自治会加入率が低下し、自治会に依頼するのは限界にきている
- 地域活動に熱心な人材がすでに地域の多くの役職に就いている
- 働きながらも民生委員活動ができるようにしないといけない
- 民生委員児童委員の大切さやどのような活動をしているのか、周知が不足している
- 民生委員児童委員を経験してよかったことをもっとPRすべき

## 8 見えてきた今後の取組の方向性

	取組の方向性
1	新たな担い手の発掘が必要
2	民生委員児童委員活動の周知啓発が必要
3	働きながら活動できる環境整備が必要



# 9 本市における今後の取組

取組内容	
1	大津市OB職員に民生委員児童委員になっていただけるよう依頼・チラシ配布
2	市職員に対する担い手協力の啓発
3	介護・障害事業所に担い手紹介依頼(予定)



# 9 本市における今後の取組

	取組内容
4	税窓口待合に啓発動画の放映
5	待合いモニター(保険年金課・戸籍住民課・カード交付推進室)に啓発動画の放映(予定)
6	市役所庁舎入口のデジタルサイネージに啓発動画の放映
7	委嘱状伝達式等の開催をホームページに掲載
8	地区民生委員児童委員協議会の取組をホームページで紹介
9	民生委員児童委員の勤務先に民生委員活動の協力依頼(予定)

